

2021年度環境・市民活動アーカイブズ資料整理研究会

(公開オンライン開催)

図書から広がる市民活動資料の世界

—東京都立多摩社会教育会館旧市民活動サービスコーナー資料

「図書・雑誌」目録の追加公開に当たって

2022年2月22日（火） 14:00-16:00

zoomミーティング

本会の趣旨

- ▶ 環境アーカイブズでは、2021年9月、「東京都立多摩社会教育会館旧市民活動サービスコーナー所蔵資料」（受入番号0042）のうち、「図書」「雑誌」関係資料の目録を追加公開しました。
- ▶ 市民活動資料とは、高度成長期以降に全国で発生した住民運動や市民運動、近年のNPO、NGO、ボランティアなど、市民の自発的活動から生み出された資料を幅広く差して使われる言葉です。その種類については、旧住民図書館の活動などがあり、「ミニコミ」と呼ばれる手作りの逐次刊行物が、団体の息遣いを伝える資料として注目されてきました。
- ▶ しかし、広義の市民活動に関する資料は、「ミニコミ」に限られません。社会課題の解決には一般の図書が不可欠です。また団体は、冊子や報告書など、自ら様々な形態の図書を生み出す存在でもあります。1972年に設立された旧市民活動サービスコーナーでは、2002年の廃止に至るまで、団体の発行する「ミニコミ」に加えて、様々な形態の「図書」を収集していました。
- ▶ その目録の追加公開に当たって、市民活動資料のなかの「図書」の世界に光を当て、市民活動資料の多様性、引いては市民による活動の広がりを目を向けます。

報告

- ▶ 「図書から広がる市民活動資料の世界—問題提起」

加藤旭人(環境アーカイブズRA・現資料担当者)

- ▶ 「市民活動資料における図書の整理—東京都立多摩社会教育会館旧市民活動サービスコーナー資料の場合」

宮崎翔一氏(法政大学大原社会問題研究所嘱託研究員、元環境アーカイブズRA)

- ▶ 「図書はどのように集められ、活用されたか—その意義をふりかえる」

山家利子氏(特定非営利活動法人市民活動サポートセンター・アンティ多摩、東京都立多摩社会教育会館市民活動サービスコーナー元職員)

お願い

- ▶ この研究会は、記録のため録画しております。あらかじめご了承ください。（可能であれば、画面はオフ設定でお願いいたします）
- ▶ 音声はミュート設定でお願いいたします。
- ▶ ご質問は随時受けつけておりますので、どなたへのご質問かと質問内容をチャットに書き込みください。
- ▶ ご質問は報告の最後にまとめてお答えいたします。
- ▶ レジューメはダウンロードいただけますが、ネットへの公開、二次利用はお控えください。
- ▶ 終了後、アンケートにご協力ください。
- ▶ URL : <https://forms.gle/KycPmRntnPZsZRxC6>

環境アーカイブズ 資料整理研究会の紹介

- ▶ 名称：法政大学 大原社会問題研究所 環境アーカイブズ
- ▶ 所在地：法政大学多摩キャンパス（町田市）
- ▶ 2009年 法政大学サステナビリティ研究教育機構「環境アーカイブズ・プロジェクト」発足
- ▶ 2011年 環境アーカイブズ資料公開室設置
- ▶ 2013年 大原社会問題研究所に統合
- ▶ 薬害、反原発など環境問題にかかわる市民運動や研究者の記録を収集・公開している
- ▶ 担当教員が環境・市民活動アーカイブズ資料整理研究会を運営
- ▶ 所蔵資料：薬害スモン、サリドマイド、反原発映像資料等
- ▶ 開室時間：平日9：00-16：30（事前予約制）
- ▶ くわしくは、サイト参照 <https://k-archives.ws.hosei.ac.jp/>



本日はご参加ありがとうございました。
Zoomは、まもなく終了いたします。

本日はご参加ありがとうございました。
かんたんなアンケートにご協力をお願いいたします。
URL : <https://forms.gle/KycPmRntnPZsZRx6>

※チャットにもURLを載せております。
※チャットにアップしたレジューメはダウンロードいただけますが、ネットへの公開、二次利用はお控えください。